

令和8年度 特色選抜入学志願者出願要件及び選抜方法

1. 出願資格（令和8年度 沖縄県立入学者選抜実施要項より）

中学校又はこれに準ずる学校、義務教育学校の後期課程又は中等教育学校の前期課程（以下「中学校等」という。）を募集年度の3月に卒業又は修了（以下「卒業」という）見込みの者のうち、次のア及びイに該当するもの。

ア 沖縄県内の中学校等に籍をおく者

イ 志願先高等学校が定める「求める生徒像」及び「選抜において重視する観点」を理解し、志願先高等学校の特色選抜出願要件等を満たす者

2. 出願要件

(1) 次のア及びイのすべてに該当する者

ア 募集年度の3月に県内の中学校等を卒業見込みの者

イ 志望学科に対する目的意識が明確であり、かつ、当該学科への興味、関心及び適性を有する者

(2) 建築科・調理科においては、各学科の要件を満たしている者

建 築 科：中学3年を通して評定平均が3.0以上の者を受検対象とする。

調 理 科：中学3年を通して評定平均が3.5以上の者を受検対象とする。

※〈算出方法〉評定平均＝（1年～3年までの全科目の評定の合計）÷27（小数第2位を四捨五入）

(3) 次のア、イ、ウのいずれかの教育活動等実績（特別活動/部活動/資格取得等）の要件を満たしている者

ア 生徒会活動、学級活動、学校行事、生徒会役員、学級役員などリーダー的活動

※「ア」は、調査書の記載内容から判断する

イ 県大会出場、九州（全国）大会出場、資格・検定、その他顕著な活動や団体競技の場合、登録メンバーであればそれを証明できるものを添付すること。

※「イ」は、個人が特定できる出場名簿（氏名記載）、賞状など証明するものを提出すること

ウ 学校外も含めたその他の活動記録や実績等（民間の習い事やスポーツ、個人の研究記録など）

※「ウ」は、施設や団体などが発行する個人が特定できる証明書等を提出すること

3. 選抜の方法

(1) 学力検査の成績、調査書等（教科の評定、教育活動等実績）の評価、面接の結果等を基にして総合的に評価し選抜を行う。

ア 学力検査の成績は、一般選抜の学力検査（各教科配点60点）のうち、思考力等を問う記述式問題以外の得点（各教科配点50点）を成績とする。

イ 調査書等では、調査書による教科の評定、調査書や証明資料等による教育活動等実績（下表「教育活動等実績（特別活動/部活動/資格取得等）の評価例」）を基に評価を行う。

(2) 不合格者の取り扱い

特色選抜で不合格となった者で、本校に入学を希望する者は「一般選抜」における入学者選抜を行う。

「教育活動等実績（特別活動/部活動/資格取得等）の評価例（HP用）」

ランク		A	B	C	D	E
項目（活動・分野）						
(ア)	学校内における教育活動	○生徒会活動で他団体から表彰された者	○生徒会長	○生徒会副会長	○生徒会役員 ○ゼニアリダー	○正副HR長 ○各種委員会の委員
(イ)	文化的な教育活動（学校内・学校外問わず）	○県代表者	○県での銀賞・優良賞	○県での銅賞・入選・佳作	○地区での銅賞・入選・佳作	○その他の実績
		○県での最優秀賞・優秀賞・金賞	○地区での最優秀賞・金賞・優秀賞	○地区での銀賞・優良賞	○3年間部活を続けた者	
		○ランクAに準ずる実績全般	○ランクBに準ずる実績全般	○ランクCに準ずる実績全般		
(ウ)	体育的な教育活動（学校内・学校外問わず）	○県代表者	○地区大会優勝・準優勝	○県大会出場者 ○地区代表者	○地区大会出場 ○3年間部活を続けた者	○その他の実績
		○県大会ベスト4以上	○県大会ベスト8	○地区大会ベスト4以上		
		○ランクAに準ずる実績全般	○ランクBに準ずる実績全般	○ランクCに準ずる実績全般		
(エ)	社会的活動・ボランティア活動（学校内・学校外問わず）	○国の団体から表彰された者	○県の団体から表彰された者	○市町村の団体から表彰された者	○年間を通して活動した者	○その他の実績
(オ)	資格・検定・各種競技等における実績（学校内・学校外問わず）	○英検、漢検、数検など準2級以上	○英検、漢検、数検など3級	○英検、漢検、数検など4級		
				○柔道、剣道など初段以上	○柔道、剣道など1級	○柔道、剣道など2級以上
(カ)	その他の顕著な実績	○その他の実績や資格等については、審査し判定する。				

（注意事項）

- ① 入学志願者の教育活動等の実績で評価項目を判定する。
- ② 調査書に記載がないものは、証明する資料を提出する。
- ③ 団体競技で実績がある場合、登録メンバーであればそれを証明する資料も合わせて提出する。